

★ 岩崎純一学術研究所 (IJAI) 女性局・女子聖堂 組織図 (歴代～現在) ★

岩崎純一学術研究所 (IJAI) 女性局・女子聖堂、岩崎純一
<https://iwasakijunichi.net>

2017年6月10日：起筆、2021年12月29日：最終更新

岩崎が大学教員に着任したため、女子大学生・高校生（但し18歳以上）が女性局に新規参加する場合には、倫理規程など教育研究上の規範意識のご確認を経ていただいております。ご希望の方は一度ご相談下さい。

2008年前後までの小規模サークルは、まとまった組織は持たず、随時集会。ただし、これらを母体に現在の女性局が成立。

- ◆IJAI主要メンバー（巫女、歌道子女、バレリーナ）と、女性局以外の岩崎関連サークルはこちら。→
- ◆このうち、主に岩崎の郷里である岡山の巫女や歌道子女で、岩崎の郷土史・日本史研究に協力している女性メンバーはこちら。→
- ◆大規模会場での公演（女子寮での閉鎖上演など以外）により、顔写真などが公表されたダンサーやバレリーナはこちら。→
- ◆女性局メンバーのうち、精神神経症状・心身症を抱える女性の個人情報については、岩崎または女性局まで要問合せ。

1. 大学の講義への取り込み期（学生が大学に講義としての開催を提案）

- 「岩崎純一関連学術グループ、サークル変遷表」 <https://iwasakijunichi.net/2/1/0/2/2-14.pdf>
- 「巫女特別協力資料 編著者・協力者の一覧」 <https://iwasakijunichi.net/2/1/0/2/2-15.pdf>
- 「構成員・上演者一覧」 <https://iwasakijunichi.net/2/1/0/2/2-17.pdf>



女性局はIJAIの女性部門であり、岩崎式十進分類法 (IJDC) に基づく【女性系】を構成する。【女性系】は【0系】～【9系】内に、これらと同様の構造で設置される。女性局と支部（東京・吉備）・巫女神道吉備派（別掲）・芸術団（別掲）は、過半数のメンバーが兼務しており、事実上これらは女性局が各支部や巫女神道・吉備史研究部門や芸術部門として活動する際の名称である。

IJAI 女子聖堂 (2018)

上記の活動や上演を円滑にするため、IJDCに基づき、女性局における自身の担当(局・部・班)がそのまま日本神話・ギリシャ神話・ローマ神話などの巫女やキャストの役割にスライドし適用される「女子聖堂制」を採用している。主にギリシャ神話の女神・妖精に扮した呼称が用いられるため、「ニンフス&フェアリーズ制(ニンペー制)」とも呼ばれ、また、単に機構の特徴を表すため、「クラスター・スライド・システム」とも呼ばれる。どの聖女堂がIJDCのどの系に当てられるかは、随時変わる。岩崎の作品『ネグリジェ悲恋舞台劇・ネイトガウン聖女悲劇』シリーズなどを女子寮などで上演しているのが、この女子聖堂・ニンフスとしての女性局・芸術団である。巫女、日舞女性、洋舞女性(バレリーナ)、ベリーダンサー、精神・神経・性関連症状の女性(気分障害、ストレス障害、解離性障害、転換性障害、カタレプシー、カタトニア、ニンフォマニア、パーソナリティー障害(受動攻撃性、自己敗北性)、発達障害など)、暴力・DV・監禁事件被害女性らが、女神・妖精の中心的な構成者・演者である。女子聖堂を「精神浄化(カタルシス)のための高度なごっこ遊び」であると認識するメンバーも多い(岩崎も同様)。

